

7-7 近畿・中国・四国地方の地震活動（1994年11月～1995年4月）

Recent Seismic Activity in and around Kinki, Cyugoku and Sikoku Districts (November, 1994-April, 1995)

大阪管区気象台

Osaka District Meteorological Observatory, JMA

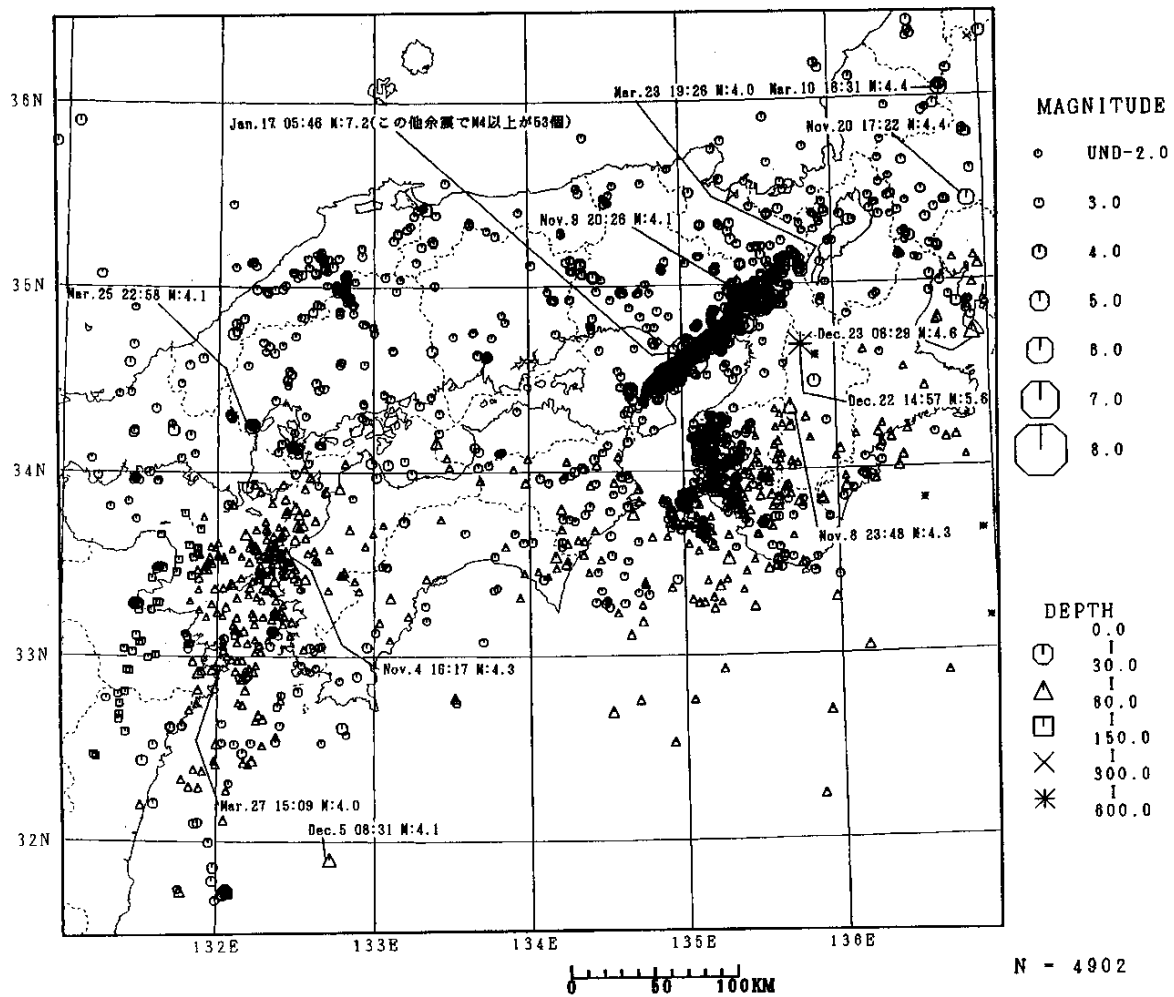
第1図は、1994年11月から1995年4月までの大阪管区気象台で決定した震央分布図である。このうち最大の地震は、1月17日に発生した「兵庫県南部地震」であるが、これについては別項で述べることにし、その他の主な地震活動としては次のとおりである。

第53巻で言及したように、11月9日に兵庫県南東部（猪名川町付近）でM4.1の地震が発生したのを皮切りに、小地震が多発した。気象官署で有感となった地震は2個しかなかったが、深さが浅いため震央付近ではかなりのものが有感となった。この活動は16日頃までは活発であったが、その後減衰し11月いっぱいではほぼ終息した。この間、震源決定できた地震数は93個だった。

3月25日広島県西部でM4.1の地震が発生し、その後28日までに合わせて5個の余震が観測された。この付近は、定常的な活動レベルが非常に低く、1984年以降を見ても周辺でマグニチュード4を越すような地震は観測されていなかった。今回注目されたが、それ以降観測されていない。

近畿・中国・四国地方の震央分布図

(1994/11/1 0:0-->1995/4/30 24:0)



第1図 震央分布図 (1994年11月~1995年4月)

日付けマグニチュード (以下M) などが付してあるのは、M4.0以上の地震である (「兵庫県南部地震」の余震は除く)。

Fig. 1 Epicentral distribution (November, 1994-April, 1995).

Labels of magnitude and date indicate earthquakes with $M \geq 4.0$, except for the Hyogoken-Nanbu Earthquake.